

第113回 研究倫理審査委員会【議事要旨】

日時 令和3年7月8日(木) 13時30分～14時45分

場所 本学 大会議室

出席者 (外部委員) 飯塚 雄一 委員
秦 美恵子 委員(欠席)
真玉 保浩 委員(欠席)
(内部委員) 大森 眞澄 委員長
大塚 美樹 副委員長
小田 美紀子 委員(欠席)
中川 忠彦 委員
平井 由佳 委員

※(五十音順)

(記録) 宮苑仁美(事務部管理課)

〈議事〉

1. 申請(2件)の審査について

1) No. 337

申請者: 阿川 啓子

課題名: 先天性心疾患児の母親が訪問看護師の関わりによって自己効力感を獲得するプロセスの解明

結果: 【条件付き承認】

なお、結果を伝える際に、以下のことを申し添えた。

・ヒアリングで出た意見について検討いただき、修正いただいたものを、再度審査委員会で確認させていただきたい。

(1) 個人情報保護に関する以下の内容について

- ① 同意書の個人情報保護の内容を具体的に明記すること
- ② オンライン調査による個人情報漏洩リスクを最小限にするための方策を記載すること
- ③ 母親へのインタビューにより知りえた情報を元に家族へインタビューする際には、母親の回答内容が特定できないよう抽象化した質問に変換する旨を記載すること
- ④ 逐語録作成業者と確認書、誓約書を取り交わすこと

(2) 研究代表者、共同研究者の精神的支援における役割分担を明記すること

(3) 以下についても、適宜 修正・検討すること

- ① 依頼文、同意書及び同意撤回書内の文言修正
- ② 同じ内容を示す文言の統一

2) No. 335

申請者: 鈴木 恵美子

課題名：COVID-19蔓延下における危機的状態にある母親に対する助産師の
バーレビューの実態調査

結果：【条件付き承認】

なお、結果を伝える際に、以下のことを申し添えた。

・ヒアリングで出た意見について検討いただき、修正いただいたものを、再度
審査委員会で確認させていただきたい。

- (1) 研究倫理審査申請書の「7. 研究等における倫理的配慮について」を
記載項目に合わせて修正すること
- (2) インタビューの逐語録は研究者自身が作成する旨を追記すること
- (3) USBの取扱について、保管方法、使用者を正確に記載すること
- (4) 研究依頼書等に関する以下の内容について
 - ① インタビュー回答拒否に関する文言の修正
 - ② 副指導教員の記載
 - ③ 質的研究における研究対象者の表記
- (5) 以下についても、適宜 修正・検討すること
 - ① フォントの修正

2. 迅速審査で承認した申請（2件）の報告について

以下の2件について迅速審査で承認したことを大森委員長が報告した。

1) No. 332 審査日：令和3年6月2日

申請者：高橋 恵美子

課題名：通常学級に在籍する学童期の児童を養育する母親の育児困難とその
要因－発達障害児と定型発達児の比較－

2) No. 336 審査日：令和3年6月28日

申請者：亀山 良子

課題名：大学生の生活習慣・食生活の実態調査による課題抽出と改善策の検
討、およびフード・インセキュリティの探索的研究

3. 研究倫理審査申請書の様式について

大学院生が申請する際の研究倫理審査申請書の記入方法について、以下のとお
り確認した（令和3年度1年生の申請より適用予定）。

- ・ 申請者（大学院生）の欄に氏名を記入
- ・ 指導教員の記入方法（2名以上の場合は連名）
- ・ 研究代表者は主指導教員名とし、大学院生は主研究者とする

～ 以上 ～

議事記録者名(事務室管理課：宮苑仁美)